

第5回北区基本構想審議会 部会1「躍動」次第

令和4年4月22日(金) 14時

北区役所第2委員会室

- 1 開会

- 2 分野別の20年後の望ましい姿について
 - (1) 産業振興
 - (2) 観光・シティプロモーション
 - (3) 地域振興
 - (4) 人権・多文化・男女共同参画
 - (5) 地域文化・生涯学習・スポーツ

- 3 職員ワークショップの実施結果について

- 4 その他

- 5 閉会

産業振興分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 経営支援・創業促進

- ① 起業する若者が集まり、「先端技術活用推進事業」などを通じてベンチャー精神あふれる地域になっていることが望ましい。
- ② 区内出店希望の若者の誘致と起業支援の充実が必要である。
- ③ 18歳までに起業する人材育成機関から、世界に羽ばたく起業家が育つ街になっていることが望ましい。
- ④ 子ども起業塾の開催が必要である。

(2) モノづくりの振興

- ① 商工における後継者不足や労働力不足が進んでいる。
- ② 企業努力への後押しが必要である。
- ③ 将来的には「アラカワリバー」が日本版シリコンバレーになるような新しい技術革新を生み出す地区になることが望ましい。
- ④ 商工業分野で問題となるのは労働人口の減少である。

(3) 生活サービス産業の育成

- ① 街を明るくするにぎわいのある商店街づくりが必要である。
- ② 若年層がクリスマスイベントなどで集まるような先端的な食や文化を提供できる地区になることが望ましい。
- ③ 来訪することでしか買えないモノ・体験（場所性・物語性）が必要である。
- ④ 北区ならではの強烈なキャラクター・イメージを作り上げることが必要である。
- ⑤ 商店、個店の完全キャッシュレス化、ペーパーレス化の促進が必要である。

(4) 働きやすい環境づくり

- ① 多様な生活スタイルによりワーク・ライフ・バランスが推進されることが望ましい（2拠点生活、週末は甘楽で畑や田舎生活、平日は北区で働いて住む等）。
- ② パワハラ、セクハラ、仕事内容、残業、年配経営者意識、社員意識、働く人の意識改革、

働く人間関係、意思疎通。

- ③ バーチャルオフィス、ノマドオフィスをショッピングエリアに創設し、子育てママパパが仕事と子育てをより快適にできるようになることが望ましい。
- ④ 働き方ではワーク・ライフ・バランスだけでなく、フレキシブルな働き方、フリーランスの支援などが必要である。
- ⑤ 外国人が増加しているということで、外国人の就労支援や、外国人に関する産業振興のテーマは、今後必要である。

(5) 主体的な消費生活の推進

- ① お金の管理・使い方を学ぶ必要がある（クレジットカードや詐欺等）。
- ② 消耗消費社会からリサイクル社会へ移行することが望ましい。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20年後の望ましい姿

- (1) 区内の事業者が持続的に発展を遂げるとともに、若者から高齢者まで誰もが起業・創業にチャレンジできる環境が整い、創業であふれるまちになっています。
- (2) 次世代を担う人材が育成され、事業や技能が円滑に承継されています。あわせて、先端技術の活用や販路拡大などの支援、産学・企業間連携の促進により、企業の高付加価値化や経営基盤の強化が図られ、地域経済が活性化しています。
- (3) 商店街の利便性向上・多様な機能の充実・北区らしさの高まりにより、近隣住民が日々立ち寄るとともに、区内外から多くの人々が訪れ、商店街の魅力がさらに増えています。
- (4) 働きやすい職場環境が整備され、だれもがライフステージやライフスタイルに合った柔軟な働き方を選択し、その能力を存分に発揮し、それぞれの環境の中でいきいきと活躍しています。
- (5) 消費生活に関する学習環境・相談体制が充実し、消費者被害が未然に防止されています。また、人や環境、社会に配慮した商品やサービスが提供・選択されています。

観光・シティプロモーション分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 観光

- ①観光資源はたくさんあるのに活かしきれていないイメージがある。鉄道（JR、都電、鉄道遺構）、映画やドラマの聖地巡礼（撮影場所）マップ、神社仏閣巡り、地区ごとの祭り・伝承や古き良きものを大切に、観光資源を磨き上げていく必要がある。
- ②北区らしさは、地域によって大きく違う多様なまち。それぞれのまちの個性・魅力を活かす必要がある。
- ③新たな魅力：来て楽しめるような事、物、場所の作成(マンホール、聖地巡礼、北区歴史めぐり、特殊なもの、名物)を作っていく必要がある。
- ④ウォカブルシティー(回遊性)のまちづくりの考えを取り入れ、まちとまちをつないでいく必要がある。
- ⑤観光振興の位置付け、捉えかたについて検討する必要がある。
- ⑥20年30年続く地域活性のお祭りイベントが盛んにおこなわれているのが望ましい。

(2) シティプロモーション

- ①渋沢栄一翁で盛り上がりを見せた飛鳥山公園をさらに有効活用することが必要である。
- ②シティプロモーションによる定住化の促進が進むと良い。
- ③関係人口の増加が北区をよく知ってもらえるためには最大の戦略となる。関係人口から新しい時代の北区のイメージを高めていき、「行きたい町 No.1」となることが望ましい。

- ④ふるさと意識の醸成とともに、新たに北区に来た層に対し誇りと愛着が生まれるような取り組みなどが必要である。
- ⑤地域の特色を正しく発信していくというのはとても大事なことだと思う。
- ⑥渋沢翁のパブリックマインドを持った公民連携によるシティプロモーションの推進が必要である。
- ⑦シティプロモーションに関しては、観光の視点と暮らしの視点という二重性がある。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20年後の望ましい姿

- (1) これまで紡いできた歴史や文化・伝統などの地域の個性や魅力に加え、公民連携をはじめとした多様な連携により新たな魅力が創出、発信されています。それにより北区への関心が高まり、訪れ、回遊し、交流する人が増えて、まちのにぎわいにつながっています。
- (2) 地域の魅力の高まりや子どものころからの教育などによって、区民が地域に対して誇りと愛着を感じるとともに、まちをより良くしていこうと主体的に関わる人がさらに増えることで、地域の魅力が一層高まり、定住化にもつながっています。

地域振興分野 20 年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) コミュニティ活動支援

- ①地域でのイベントによる人々の触れ合いを高める必要がある。
- ②関係人口の多いまちが望ましい。
- ③若い人が参加しやすい入口が必要である。
- ④現状、自治会の高齢化や後継者不足が課題である。
- ⑤町会・自治会の機能の見直しが必要である。
- ⑥コミュニティの担い手となる主体（町会・自治会、地縁型 N P O、商店街、大学、企業、
エスニック・グループ等）の連携が必要である。
- ⑦北区または町会の行事・イベント告知や発信ツールの多様化が必要である。
- ⑧地域のつながりが大事である理由は、困ったときに助け合えるということである。
- ⑨地域振興の 1 つの目的は生活の豊かさを高めるということである。

(2) コミュニティ環境整備

- ①現状、IT 技術などを活かした新しいコミュニティの方法が広がっている。
- ②誰もが集い支え合うことができる居場所や、子どもから大人までがアクティビティを楽しめ、リラックスでき、
人とつながることができる場所が必要である。
- ③コミュニティが自然に形成される環境づくり（年齢別遊び場など）が必要である。
- ④自治体と区内 N P O 等による団地等での孤立防止のコミュニティ運営が必要である。
- ⑤住居者不在の集合住宅をリノベーションし、子どもたちへの教育・遊びの場を備えた複合施設として
運用し、顔見知りの間柄での安心したコミュニティの場とすることが望ましい。
- ⑥教育活動・アート活動が盛んで、河川敷がスポーツ施設・舞台・カフェといった地域再生のシンボルとな
っていることが望ましい。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20 年後の望ましい姿

- (1) 多様な主体(町会・自治会・N P O・ボランティア・企業・学校・行政など)が連携して課題解決に取り組むことにより、地域のきずなが育まれることで、新たな担い手が増え、地域が活気づいています。また、年齢や国籍等にかかわらず、交流が深まり、人と人のつながりの大切さを実感し、豊かに暮らすことのできるまちになっています。
- (2) 地域活動の場が十分に提供されることで、だれもが集い、支え合い、安心できるコミュニティが自然と形成されています。

人権・多文化共生・男女共同参画分野 20年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 平和・国際交流

- ①戦争についての伝承事業が必要である。
- ②今の紛争や世界状況について学ぶことが必要。
- ③北区の平和だけでなく、助け合える関係が必要である。
- ④政策の後半ではなく、冒頭に置くなどの工夫もあってよい
- ⑤日本の良さや課題を様々な体験を通じて再認識するためには、子どもたちが海外に行く機会を増やしていく必要がある。

(2) 人権・性の多様性・多文化共生

- ①ヘイト・スピーチを防止する実効性のある条例制定まで踏み込むのが望ましい。
- ②人権侵害やDV被害などの相談をしやすい体制作りが必要
- ③学校で人権や性の多様性についての授業を積極的に行う必要がある。
- ④差別・貧困というものがない日常が望ましい。
- ⑤誰もが自分に忠実に生きることのできる社会を目指す必要がある。
- ⑥LGBTQ、SOGIについて、認知が高まり、説明しなくてもみんな知っている状態が望ましい。
- ⑦多様性に対する理解や寛容さに欠ける点がある現状がある。
- ⑧価値観や考え方に大きな違いがあっても、その違いを許容し尊厳のある人間関係を構築する努力が必要である。
- ⑨多様な言語が理解される地域を目指す。外国語の講座や、日本語講座などを広く開設する必要がある。

⑩外国人のためのわかりやすい相談窓口が必要である。

⑪地域に住んでいる外国人との交流や、外国人住民の中のキーパーソンを探し、懇談することが必要。

⑫子どものころからの異文化理解・異文化交流が望ましい。

⑬「外国人住民」の「市民（区民）」としての意見聴取の仕組みづくりが必要である。

(3) 男女共同参画

- ①女性活躍や男女共同参画、ということば自体が消えている社会が望ましい。
- ②子どものころから、男女の別がないような対応が必要（校帽、制服など）である。
- ③男性育児参加や育休取得が当たり前の社会が望ましい。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20年後の望ましい姿

(1) 様々な機会を通して子どもたちをはじめとした幅広い世代の区民のあいだで、平和への意識が醸成され、次の世代へも平和の尊さが引き継がれています。

(2) 年齢や性別、性的指向、性自認、障害の有無や国籍などの多様性を尊重し、認め合い、誰もが自分らしく輝き続けられる差別・偏見のない地域社会になっています。

国籍や文化の違う人々が、交流を通して、言語や価値観の違いをお互いに理解したうえで、ともに暮らす地域になっています。

(3) 性別による固定的な役割分担意識が払しょくされ、個人として認められ、能力・個性を發揮することができています。

地域文化・生涯学習・スポーツ分野 20 年後の望ましい姿

1 審議会での主な意見

(1) 地域文化

- ①地域に根ざした生活や交流が、その人それぞれの価値観で行える地域であることが望ましい。
- ②文化政策を、シティプロモーション、地域産業振興、商店街活性化、コミュニティ形成などと有機的に関連させていくことが望ましい。
- ③ココキタのような文化活動拠点が各エリアにあり、小学生が一人でも遊びに行き文化芸能に触れる機会がより多く提供されていることが望ましい。
- ④新たな文化をつくりだす必要がある。
- ⑤地域の文化の理解度を上げられるような研修会や講習会を行う必要がある。
- ⑥もっと地域文化（有名なもの・場所）を利用して、イベント、文化事業を行う必要がある。

(2) 生涯学習

- ①大学等の教育機関との連携したリカレント教育、社会人大学の充実が必要である。
- ②企業と連携したリスキリングが必要である。
- ③地域で提供可能なスキル向上の仕組みづくりが必要である。
- ④ジュニアリーダー、シニアリーダー層と学生団体等がつながることで、子どもは将来のロールモデルができ、学生は地域活動への参加のきっかけを作ることができる。
- ⑤デジタル化の推進（講座のネット配信、AR、高齢者を含めた交流の場）が必要である。
- ⑥学習できる場の整備（PC、インターネット、楽器など）が必要である。
- ⑦オンラインを活用した多世代交流とリアルなつながりへの発展に期待する。

- ⑧1人で楽しむのではなく人と人とのつながり、コミュニティを作りながら楽しむことが重要である。
- ⑨ライフステージに合わせて成長をサポートしていくような仕組みが必要である。

(3) スポーツ

- ①スポーツ・レクリエーション機会の確保。スポーツを通してのにぎわい創りが必要である。
- ②ゲーム、eスポーツ、オンラインは高齢者、子どもが対等に話せ、多世代交流ができている場。この良さをリアルにも活かしていくことが望ましい。
- ③障害者を含め、子どもから高齢者まで、運動を楽しみ、習慣化している北区であることが望ましい。
- ④多種多様な運動ができる環境が整い、世界で活躍するスポーツ選手を輩出することが望ましい。

社会・国・都の動向、現状と課題、取組みの方向性（案）

2 20 年後の望ましい姿

- (1) 文化芸術に触れる機会が充実しているとともに、北区固有の文化が継承・発展していくことで、心の豊かさが育まれています。
- (2) 生涯にわたって多様な学習機会を活用して主体的に学び、学んだことを活かして地域で活躍しています。
- (3) だれもが身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境が整備され、スポーツを通じた地域住民同士の交流が活発に行われています。

北区基本構想策定に向けた 職員ワークショップの実施結果

参加者：各部推薦（35歳以下で、係長級、主任、主任選考対象者）及び、政策課題研究会（ロゼ）メンバー 合計34名

実施概要・目的：

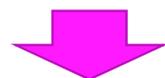
- 5～6名の班を分野別（躍動、輝き、創出）に各2班（合計6班）構成し、ワークショップ形式にて実施。
- 審議会における検討材料として活用するため、若手、中堅職員に基本構想等の策定プロセスへの参加機会を設け、基本目標（案）とその説明文の作成について検討を行った。

将来像の分野	包含する要素（政策領域）の例
躍動	地域振興、産業振興、地域文化・生涯学習・スポーツ、観光・シティプロモーション、人権・多文化共生・男女共同参画
輝き	子ども・家庭、学校教育、健康・医療、高齢・介護、障がい、権利擁護・生活支援
創出	都市計画、道路・交通、住宅・公園河川、防災・防犯、環境共生・環境保全・資源循環

日程・内容：

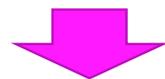
第1回：令和3年12月20日（月） **「各分野において重視すべき要素の抽出」**

- 各分野 2グループで分野ごとに議論し「将来像の要素」を作成。



第2回：令和4年 1月12日（水） **「将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討」**

- 各分野 2グループで分野ごとに議論し「将来像を構成する要素」や「実現すべき北区の将来イメージ」を作成。



第3回：令和4年 3月23日（水） **「基本目標（案）の検討・取りまとめ」**

- 第1回、第2回で検討した内容をもとに、分野ごとに2案の基本目標（案）と、それぞれの考え方を端的に表す説明文を作成。

第1回 各分野において重視すべき要素の抽出

	将来像の要素	選定の理由・根拠
躍動	知名度の向上	北区の観光資源（ランドマークなど）を活かし知名度の向上
	次世代につなげる文化芸術	担い手づくり、ICTを活用したコミュニティづくり、外国人との共生
	ダイバーシティにおける全活躍型社会	いつの時代も人種・性別・境遇に関係なく区民が活躍できる社会
	個の尊重は区の成長	多様な個性・文化・国籍・性別を理解尊重する
輝き	子ども・子育て層のネットワークづくり	場所や施設でのイベントにとらわれず、ネット上でのつながる場（＝ネットワーク）があれば、より取り残されることが無い
	ひとりひとりに寄り添った教育で子どもの個性・能力を伸ばす	ハード：環境の整備 ソフト：ICT、多様な学習機会
	地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生き	いきがいを持って長生き、病気になっても家族と本人が希望を持って暮らす
	個性が輝ける環境	障がいやマイノリティーも含め、“個性”としてとらえる環境づくり
創出	誰でも使える魅力ある公園	誰もが外で楽しく遊べる機会を増やしたい（カフェ、レストラン、遊具の整備、清潔感の維持）
	持続可能性社会の形成	環境保全、資源循環、ゼロカーボン
	安心・安全な都市基盤の整備	狭く、暗いと怖いから（道路の拡幅、無電柱化、災害対策）街路樹等も
	ゼロ・カーボン循環型社会の推進	省エネと資源循環が重要だから

【 躍動 】 将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
地域のつながり 生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化による担い手不足 ICTを活用した地域への愛着づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用による全世代が地域への愛着を持てるコミュニティの実現 スポーツを通して世代の垣根を超えた地域のきずなづくり
次世代につなげる文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の衰退 新技術を活用した次世代への文化継承 	<ul style="list-style-type: none"> 新技術を活用した未来へつなぐ次世代への文化芸術の継承 デジタル社会に対応した文化芸術の新しい発信
ダイバーシティにおける全活躍型社会	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な価値観をはぐむ土壌づくりの不足 だれでもいつでも自由に学び挑戦できる社会 	<ul style="list-style-type: none"> だれでもいつでも自由に学び挑戦できる全活躍型社会の実現 多種多様な価値観を認め、共有しあう全活躍型社会に実現
知名度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 区民の愛着が世代間でバラつきがある 観光資源の把握不足及び利活用不足 広報の工夫の余地あり 文化施設の利活用可能性追求 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが愛着とほこりをもって住みつづけたいまちの実現 週末のお出かけの目的地として訪れたいまちの実現
個の尊重は区の成長	<ul style="list-style-type: none"> 職員の区政への理解が不足している 個を尊重することへのニーズに対応できていない 住民の多国籍化が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 個の尊重は区の成長 誰もが自分らしい生き方で輝けるまち

【躍動】基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
躍動 1	<ul style="list-style-type: none"> • 多種多様な価値観ときずなをはぐくむまち 北区 • 個性がいきるまち 北区 • 全活躍型社会 北区 	<p>ICTを活用して、文化芸術を未来へつなぐとともに、区民一人ひとりが地域への愛着ときずなを深め、自由に学び挑戦できる全活躍型社会北区をめざします。</p>
躍動 2	<ul style="list-style-type: none"> • だれもが花咲かせるまち • 帰宅したくなるまち 北区 • 個の尊重は区の成長 • まちどおいしいまち北区 	<p>だれもが、文化・歴史を継承する担い手となり、自らの個性に花咲かせながら、北区とかわることに誇りが生まれ、それが新たな北区とのかかわりを生み出す循環と広がりのあるまちをつくっていきます。</p>

【輝き】将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
ひとりひとりに寄り添った教育で子どもの個性・能力を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> サポート体制が不十分 ICT活用が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性・能力を伸ばす環境づくり あらゆる個性を認めあえる学びの場の実現
多様化する環境に応じた子育てサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの福祉需要が増加している 人材不足の対応が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する環境に応じたよりきめ細やかな子ども福祉サービスの提供
子育てしやすい環境づくり <small>子育てサービス・環境</small>	<ul style="list-style-type: none"> 環境が充実している 活用できる人材が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティを活かした子育てしやすい環境づくり
地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生き	<ul style="list-style-type: none"> 集う場所がある つながりの格差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながり、生きがいづくりでいきいきと長生きできる街づくりの実現 つどいの場の充実を魅力発信
子ども・子育て層のネットワークづくり（オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ・リテラシーの整備・ネットいじめのリスク ネットワークを持たない方への支援 トレンド（メタバース・e-sports） 北区は地域のきずなづくりに注力している点 	<ul style="list-style-type: none"> どんな子どもたちも楽しく競い合えるe-sports大会の開催によるコミュニティづくり 仮想空間を整備して地域ネットワークの充実を図り、共有したくなるまちづくり
IT化の進展に対するフォロー	<ul style="list-style-type: none"> コスト面 デジタルデバйд 東洋大との連携 IT化の進展による、多くの世代の地域参加、コスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> IT先進都市・北区 次世代を担うITスペシャリストの育成 デジタルデバйдの解消により、誰もがIT化の恩恵を享受できる地域社会の実現
個性が輝ける環境	<ul style="list-style-type: none"> いじめ、不登校等相談数の増加 教育者への指導 知る機会を増やす 多様性社会推進課がすでにある 	<ul style="list-style-type: none"> 区民がカラフルに輝ける環境づくり No.1ではなくオンリーワンな教育の推進 おたがいさまネットワークの延伸
健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化（25%超） 区ですでに健康寿命の増進に注力しており実績有 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に関わらず健康づくりに取り組み健康を楽しむ社会の実現 世代を超えて健康を楽しめるまち

【輝き】基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
輝き 1	<ul style="list-style-type: none"> • パパママ安心！みんなが主役の生涯輝きタウン • 生涯現役！あなたの個性が輝くふるさと • 希望がキラキラ！みんなのふるさと北区 	<p>地域のふれあいのなかで子どもたちが自由にすくすくと成長でき、生涯を通して誰もがいきいきと個性を輝かせ、希望があふれるまち北区をめざします。</p>
輝き 2	<ul style="list-style-type: none"> • 可能性と笑顔を咲かせるハートフルシティ • 自分の色を発見・シェアできるまち • 笑顔を共有！ふれあいのまち 	<p>世代を超えて楽しみや情報を共有することで、日常が鮮やかに彩られ、誰もがカラフルに輝くハートフルなまち、街中に笑顔がさくら咲くまちの実現を約束します。</p>

【創出】将来像の重視すべき要素と将来の姿の検討

将来像を構成する要素	北区の問題点と可能性	実現すべき北区の将来イメージ
誰もが生きやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多様性への対応不足 区民との協働不足 再開発の余地がある 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重した誰もが住みやすいまちの形成 多様な主体が関わり合うまちづくり
持続可能性社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動への動機づけが不足 環境活動の不足 資源が多い（公園・河川など） 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な持続可能性社会の実現 環境活動に参画しやすい仕組みづくり 地域資源を活用し、経済的自立を達成した環境活動の推進
安全に暮らせる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 意識、知識の不足 予算不足 土地・スペース確保の必要 付加価値の創造 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ防災の推進 付加価値のある安全なまちづくりの実現
誰でも使える魅力ある公園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地と費用の不足 民間活力の活用が少ない 交流の場の更なる確保 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな交流が生まれる拠点づくり 官民協働でつくりあげる魅力ある公園の実現
安心安全な都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 敷地と費用と時間の不足 住民理解の不足 安心、安全ではない 景観の向上（魅力） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に命を守る安心安全なまちづくりの推進 明るくキレイな街並みの実現
ゼロ・カーボンシティ気候変動対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住民理解の不足 異常気象対策の不足 費用減できる 再生エネルギーによる防災対策の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害を防ぐゼロ・カーボンシティの実現 気候変動適応策の推進

【創出】基本目標（案）の検討結果

	基本目標（案）	説明文
創出 1	<ul style="list-style-type: none">未来へ向かって成長していくまち 北区北区でであり、おもいでをつくる人とみどりをまもるふるさと北区 	多様な主体がまちづくりに関わる仕組みの中で、北区らしいなつかしさを守りながら、新たな安全や価値を生みだしていき、人とまちがともに成長し続けます。
創出 2	<ul style="list-style-type: none">人と交流、環境と共生できるまち新しいにぎわい、交流がうまれる魅力ある拠点へサステイナブルタウン北区 	明るくきれいな安心して暮らせる街並みの整備がなされ、だれもが分け隔てなく楽しく交流ができ、持続可能で環境と共生できる、災害に強い安心安全な魅力あるまち北区をめざします。